



# 滝三小だより

学校HPのQRコード



## 2 月 号

令和 7年 2月 3日  
北区立滝野川第三小学校  
校長 関口 泰正

### 今年度の研究について

校長 関口 泰正

今年度、滝三小の教職員全員で、生活科・理科の研究をしてきました。これは、令和5年度から同じテーマで、継続・発展の研究内容です。

生活科、理科の学習で、子供たちが思考力・判断力・表現力を高めていくために、どのような準備をしていくか、どのように問いかけをして、どのように授業を組み立てていくといいか、など、全学年で6回の研究授業を行い、よりよい授業について考え、検証してきました。

滝三小の子供たちが、生活科・理科の学習をしていくにあたって、自分で問題をつくり、それに対する考えをもち、疑問を明らかにしながら、分かったことからさらに考える、という問題解決の力を伸ばしていくこと、また全教員の授業力を向上させていきたいことなどを考えながら、研究を進めてきました。

今年度も、北区理科教育アドバイザーの林四郎先生に指導をいただき、子供たちの学習する様子を見ながら、研究を深めました。

一つの研究の成果として考えたいのが、年度当初の4月に実施した、北区基礎基本調査の理科の結果です。理科（4～6年生）の正答率で、対全国比令和5年度は0.97だったのが、令和6年度1.06に正答率が上昇したことです。

今年度研究した成果を、来年度に向けて生かしていきます。子供たちが楽しいと感じる授業づくりに今後も全教員で努めていきます。

### 2月行事予定

3日（月）全校朝会 安全指導日 マラソン月間始 体育集会（20分休み マラソン）	17日（月）全校朝会
4日（火）花育（2年）	18日（火）5時間授業（6年） 保護者会（6年） 薬物乱用防止教室（6年）
5日（水）C4時間授業	19日（水）B時程 5時間授業
6日（木）委員会活動	20日（木）音楽朝会 クラブ
7日（金）C時程 4時間授業	21日（金）B時程
10日（月）全校朝会 4時間授業（1・2年） 新1年生保護者会	24日（月）振替休日
11日（火）建国記念の日	25日（火）全校朝会
12日（水）B時程 5時間授業	26日（水）B時程 5時間授業 理科実験支援授業（6年）
13日（木）なかよし班遊び	27日（木）マラソン月間終
15日（土）土曜授業 学習発表会（4年）	28日（金）6年生を送る会 お別れ交流給食



※今月も日時予告なしの避難訓練を行います。

※現時点での予定です。今後の状況により、変更する可能性があります。



## お正月遊び

特別活動部

1年と6年、2年と4年、3年と5年のペア学年で、お正月遊びを通して交流を深めました。下学年が楽しめるように、上学年が遊びの種類ややり方を計画しました。短い時間の中でも、コツを教わり少しでもできるようになると、「できた」や「上手だね」など、温かい言葉が聞こえたり、満面の笑顔が見られたり、素敵なひとときを過ごしていました。



## 席書会

書き初め担当

書き初めの歴史は古く、平安時代の宮中行事が起源だとされています。また、子供たちが集まって、書を書くことを「席書き会」とも言い、こちらは江戸時代の寺子屋から始まっています。年の初めにあたり、この伝統的な正月行事である書き初めを通して、子供たちに新たな気持ちをもたせます。

1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、文字を正しく丁寧に書くことを大切にして、練習してきました。その成果を生かし、どの学級の子供たちも、集中してお手本をよく見ながら丁寧に心を込めて書いていました。



## 5年生社会科見学

5年担任

1月20日(月)に、「千葉港」と「JFE 東日本製鉄所」へ見学に行きました。千葉港では、観光船を貸し切り、迫力満点の大型クレーンやコンテナ船を間近に見て、歓声が上がりました。関連工場が一体となり、食品コンビナートを形成していることも実際に見て学ぶことができました。JFE 東日本製鉄所では、原料から生活に欠かせない鉄がどのように作られているのか見学しました。子供たちは、1,000度以上の鉄の熱さや機械で制御された工程など、驚きと発見の連続でした。

児童の感想からは、「人々の豊かで快適な生活の裏には、大変な思いをしていることを知ることができました。」「物を大切に使いしていきたい。」「他の工場にも興味をもつことができたので、調べてみたいと思います。」など、学びを更に深めることができました。



## 3年生自転車運転教室

3年担任

1月17日(金)に、滝野川警察に御協力をいただき、講習を行いました。始めに自転車に乗る際の注意事項を聞きました。安全に走行するにはどうすればよいか、簡潔に説明をいただきました。その後、設置されたコースを運転しました。コーンとコーンの間を通るなど、慎重さが求められるコースを丁寧に運転していました。自転車運転教室の後に、各教室で振り返りをしましたが、地域の道路を安全に歩いたり、自転車を運転したりするにはどうすればよいか、皆熱心に考えていました。

